



発行所 全国労働組合連絡協議会 東京都港区新橋4-21-7つるや加藤ビル4階B TEL 03-5403-1650 FAX 03-5403-1653 発行人 渡邊 洋 定価 1部 40円 (組合員の購読料は組合費の中に含む)

●「新しい働き方」の表の顔と裏の顔

「便利さ」に潜む 危険を見極めよう

全国労働組合連絡協議会議長 渡邊 洋

スキマバイトに依存した事業運営が「人手不足の救世主」として持ちあげられている。働き手にとっても、隙間時間の活用で即賃金と好評らしい。

経営者団体は、「労使自治」という美名の下で労働基準法の有名無実化を画策、さらには兼業・副業がキャリアアップに資するとして割増賃金の通算制廃止を強く迫っている。副業・兼業原則禁止と言われてきた公務員の世界にも「容認」の風が吹き出した。

こうした「新しい働き方」の真実を明らかにし、規制を設ける取り組みが問われている。

大手を振るう スキマバイト 依存の店舗運営

外食産業を手広く展開する「ワタミ」渡辺美樹会長兼社長が、傘下のサンドイッチチェーン「SUBWAY」の一部店舗運営を、店長以外スキマバイトで埋めることを発

表、新聞やTVで大きく報道された。バイト募集は、スキマバイトサービスを運営する「株式会社タイミー」が行う。報道では応募状況は順調で、今後、スキマバイトの中から店長となる正社員を雇用するという。



ワタミに抗議行動(2015年)

烏森日記

高額医療費問題にかこつけて「短期滞在外国人」の療養費「不適切」受給を見直せと言った人物がいる。国民民主党玉木代表だ。▼政府統計では、

キマバイトの中で仕事との相性を確かめながら直接雇用に切り替えることで、定着率はむしろ高まるという。

飲食業界での人手不足が深刻化する中で、こうした試みが持たせられる。果たして成功するのだろうか？

人事管理の外注は「良いこと」づくめ？

材紹介会社(スキマバイトアプリ事業者)が担う。新聞報道(四月十一日『日経新聞』)によれば、直接雇用比べて

タイミー側に支払うコストは三割程度高むが、「直接採用でも短期で辞めていく人が多く、採用や研修の費用を考えると全体のコストを抑えられる」としている。また、ス

だがこれは人事管理の「丸投げ」ではないのか？ 労務管理の代行は「日雇い派遣」ではないのか？ 人材派遣と人材紹介の狭間で様々な問題点が指摘されている。

事業者が労働者の管理・監督を行うことで、労働者の諸権利が損なわれる危険性がある。派遣会社のように仲介が入らないため、労働法の遵守状況チェックが難しく、労働者の保護が不十分になる可能

国保加入の外国人3%余に対して中長期滞在者への支給額は1%余、短期滞在者への支給例三四件に不適正事例はない。氏は排外的発言ではないと宣言が、誰が聞いてもデマまみれ、ヘイトそのものだ！

性もある。もう一点、忘れてはならないことがある。ワタミは二〇〇八年、入社

二カ月の新入社員を月一四〇時間を超える残業を強いて自己に追いやって。遺族は、ワタミが安全配慮義務を怠ったのが自殺の原因として提訴、

ワタミ側は当初「法的責任はない」として争った(後に自殺の原因と法的責任を認め損害賠償に応じ和解)。そんな企業が、「新しい働き方」の旗を振りマスコミに持ち上げられる。そこに危険性はないだろうか？

公務労働でも進む？ 兼業・副業の規制緩和

政府はついでの間まで、公務への専念、利益相反や倫理的問題の回避を理由に、公務職場での兼業・副業を厳しく制限してきたが、ここへ来て制限緩和に舵が切られている。理由として、自発的学習・技能向上、人材不足解消、地域貢献などが挙げられている。利益相反や倫理的諸問題は片付いたのか？

科会の中で、経団連は兼業・副業の割増賃金の通算制廃止を繰り返して主張している。理由として、①労働時間の通算の困難性、②割増賃金を負担する会社・負担しない会社との不公平、③キャリアアップに資する側面を挙げる。労働側委員は、①兼業・復業就業者の大多数が非正規雇用であり生活のための選択、②労働時

間通算は可能であり長時間労働の規制上必要だと反論する。どちらの肩を持つかは言うまでもない。私たちは「変化」を一概に否定しないが、変化のメリダ。

新連載コラム

「働くルールがこわされる!」をよろしくお願いします

本番だ。全方で取り組もう」と決意を語った。続いて民間を代表して全国一般東京東部労組の菅野委員長、公務公共からは全水道東水労の諸隈書記長、さらに争議組合を代表して全国一般ケーアワーカーズユニオンの南委員長がそれぞれの立場からアピールがされた。

●4・4けんり春闘第2波統一行動

経団連抗議 争議支援 銀座デモを闘う

25けんり春闘全国実行委員つとめた。主催者挨拶では25けんり春闘全国実行委員会から渡邊共同代表が挨拶に立ち「大手企業では昨年を上回る賃上げ回答が出ているが、物価高騰を考えれば暮らしの底上げには不十分だ。中小零細で働く労働者、非正規雇用労働者の企業はこれからの春闘

また、特別発言で「さよなら原発一〇〇〇万人署名の原発一〇〇〇万人署名の会」の土井さんから「安全性すら確立できない原発、その原発の再稼働ありきは許さない」とアピールを受けた。最後に全国一般東京東部の井田書記長がシュプレヒコール、

二オン、神奈川シティユニオンから層間の行動報告が行われ、東京全労協・本木事務局長からの行動提起、そして、東京交通協力会労組の上村委員長が力強い団結頭張るうで締め括った。

東京駅までのデモでは週末で賑やかな銀座の街行く人に賃上げをアピールした。(25けんり春闘全国実行委員会事務局 関口広行)

全造船関東地協労組の高橋さんの「団結頭張るう」で集会を終えた。大手町付近はビル風が強く、時折、旗が吹き飛ばされそうな強風に見舞われたが、集会は無事に終了。参加者は一五〇人だった。



日本パワー社前行動

賃上げを訴える銀座デモ